

今回の紹介地区 No.006 島根県 雲南市 寺領地区 じりょう

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要：農地面積 123.2ha、うち耕作放棄地 5.6ha
 放棄の理由：高齢化による労働力不足等
 荒廃の程度：雑草の繁茂、雑木や竹の侵入に加え、急傾斜の畑もあり、人力、農業用機械、重機による作業やほ場面の傾斜補正等が必要

取組概要

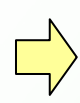
対象面積：7a(畑)
 実施期間：平成21年7月3日～8月17日
 取組のきっかけ：地元小学校隣の畑が荒れているため、農業委員が学校と相談し、子供たちが近くの農家と一緒にそばを植え、開花時には写生を行い、収穫後にはそば打ち学習や試食を行うこと(児童教育、環境美化)を計画。
 調整経緯：農業委員が地主と近所の農家や小学校との調整を行い、実施に至る
 取組主体：農業委員と近くの農家(予定作物：そば)
 作業内容：雑草刈払、倒竹の処分、ほ場面の傾斜補正、整地等

今後の予定

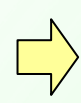
平成21年8月下旬までに土壌改良(肥料投入)を実施し、その後にそばの作付け



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後